

吾妻山

○概況

地震活動は、消長を繰り返しながら低下傾向にあります。

大穴火口（一切経山南側山腹）付近の噴気の状態に変化はみられませんでした。

地震活動の状況

火山性地震回数は、今年 1 月をピークに消長を繰り返しながら低下傾向にあります。7 月、8 月は月合計回数がそれぞれ 208 回、211 回とやや多い状態でしたが、8 月下旬以降 9 月に入ると日合計回数は 0 ～ 11 回と落ち着き、9 月の月合計地震回数も 72 回と減少しました。比較的振幅の大きな地震も、9 月は少ない状態が続いています。

また、震源が大穴火口直下に求まる地震が観測されていますが、地震の規模はいずれも小さいものでした。

火山性微動は観測されませんでした。

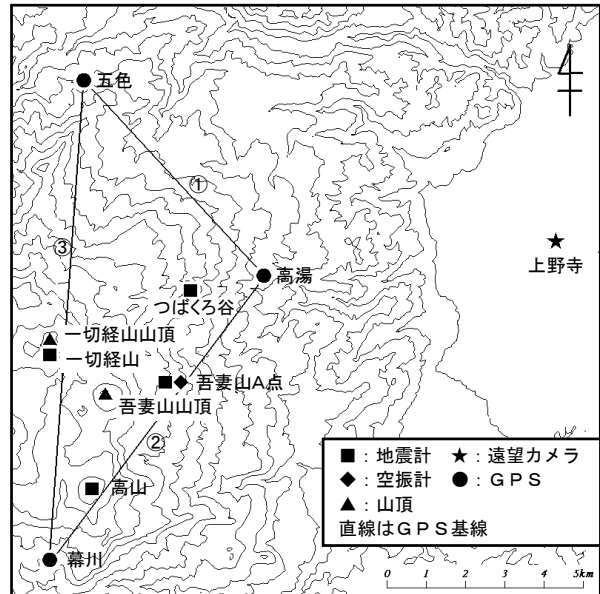
モホ面付近（深さ 30km 前後）が震源とみられる低周波地震は、8 日に 2 回観測されました（8 月なし）。

噴気活動の状況

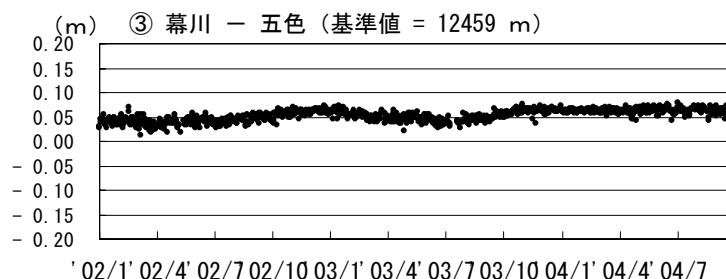
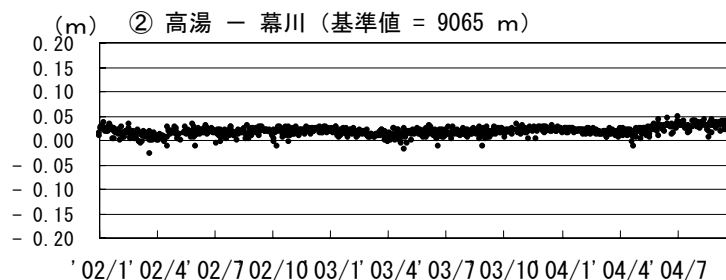
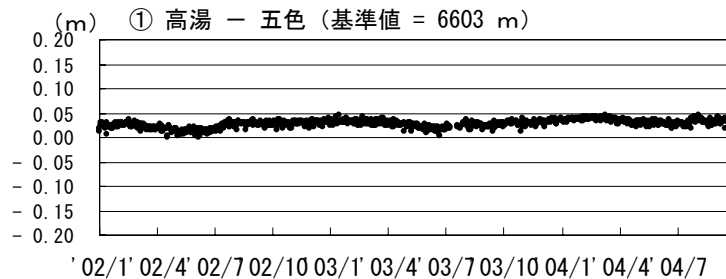
遠望観測（監視カメラ）では、悪天のため大穴火口付近を確認できない日が続き、火口付近を確認できた日に観測された噴気の高さは 30m 以下で変化はみられませんでした。

地殻変動の状況

G P S による観測では、火山活動によると考えられる変化はみられませんでした。



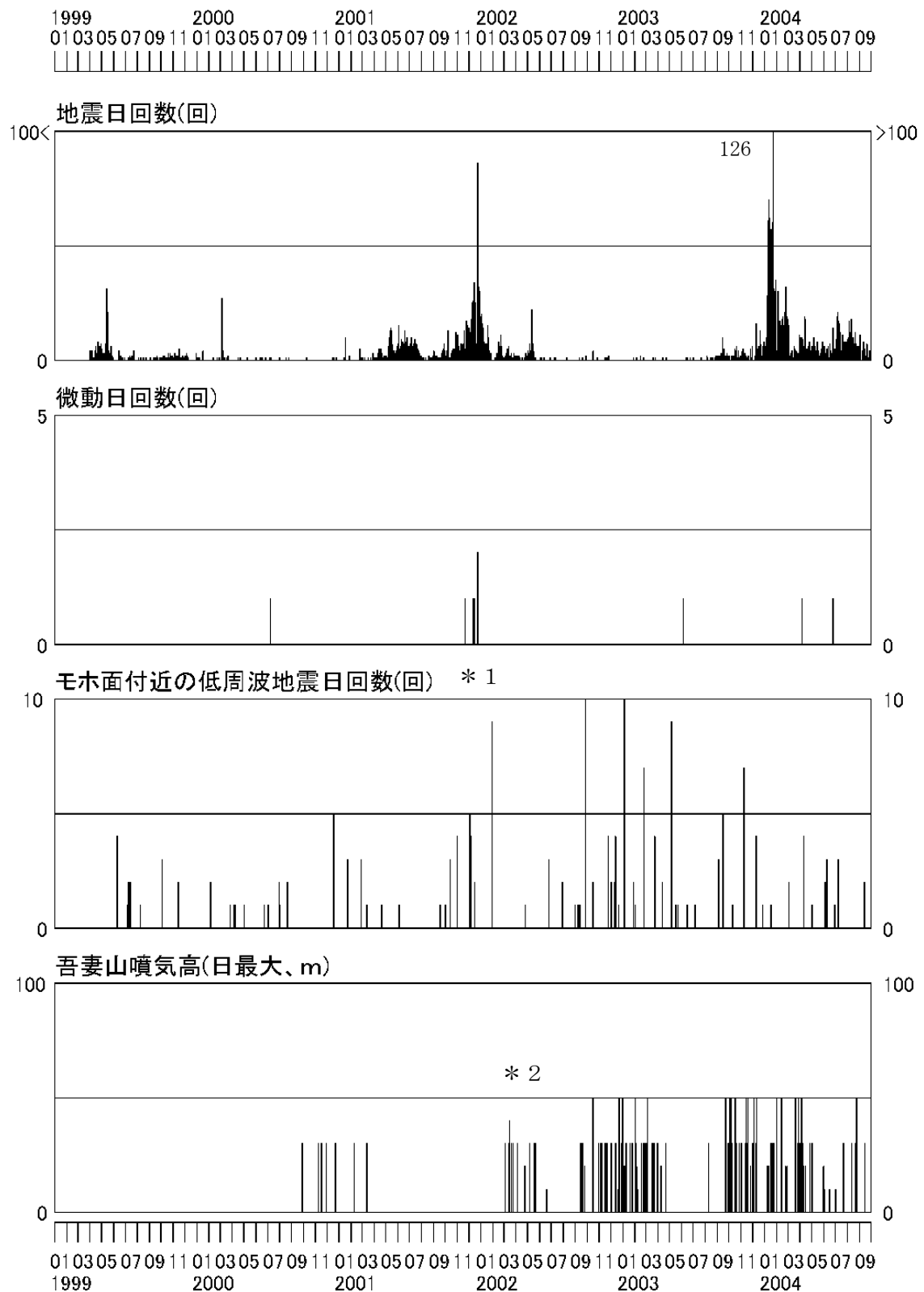
吾妻山火山観測点配置図



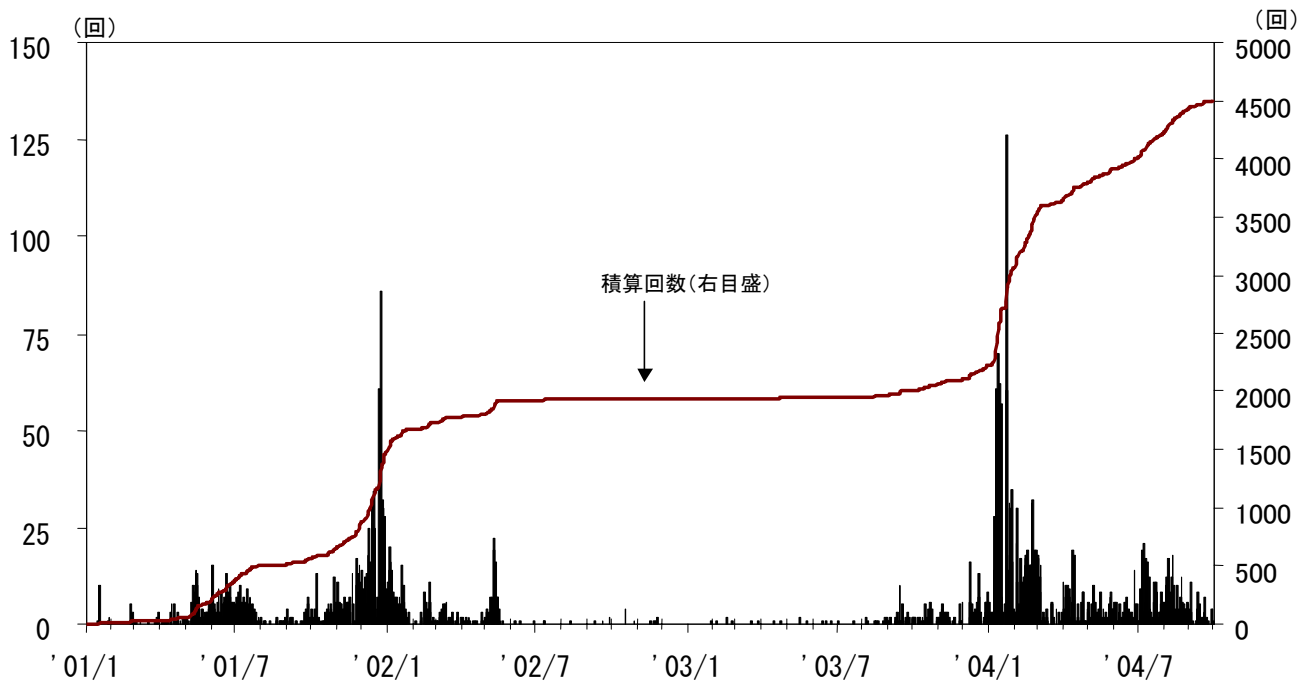
G P S 基線長変化図（2002. 1～2004. 9）

吾妻山 活動一覧

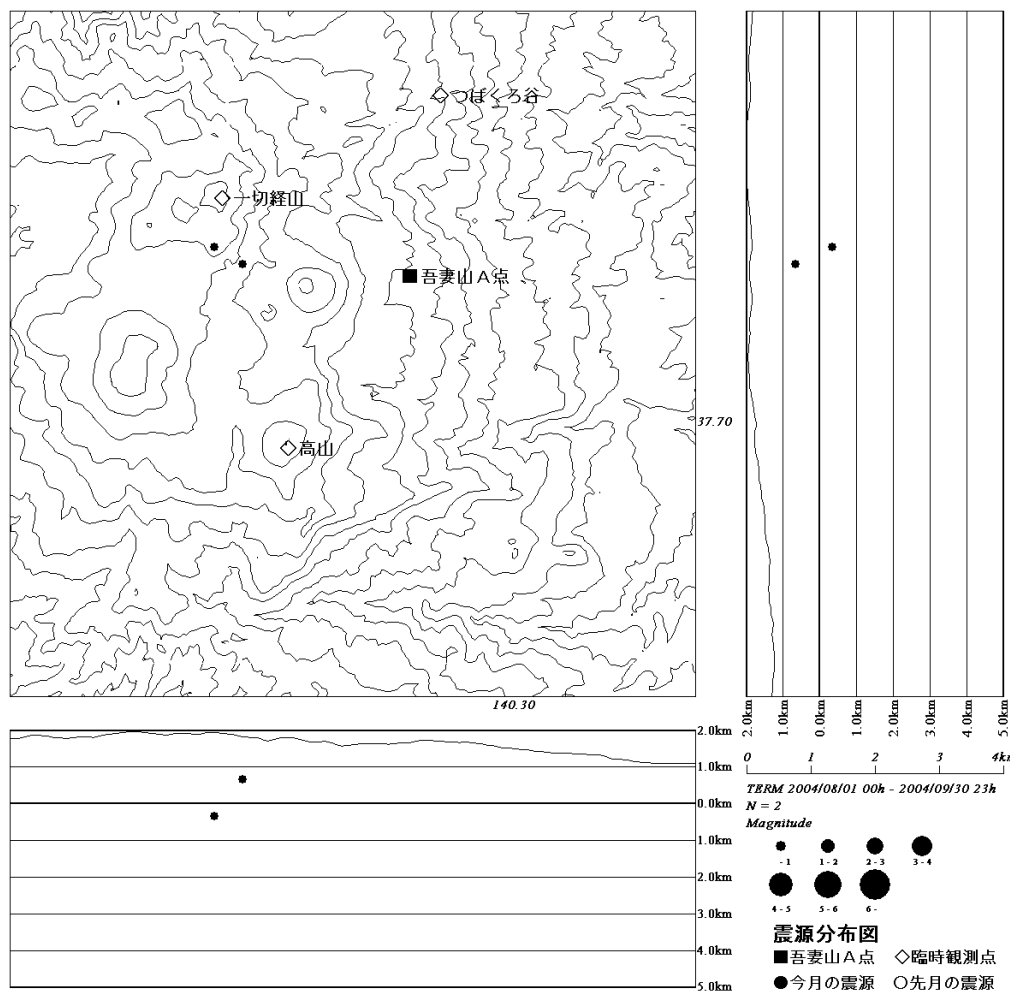
1999/01/01～2004/09/30



- * 1 東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。
- * 2 2002 年 2 月以前は定時及び随時観測データ。
2002 年 3 月以後は収録データにより全時間を精査。



吾妻山A点（気象庁）の地震計による日別地震回数とその積算図(2001. 1. 1～2004. 9. 30)



吾妻山震源分布図(2004. 8. 1～2004. 9. 30)